

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

大衡村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県黒川郡大衡村

3 地域再生計画の区域

宮城県黒川郡大衡村の全域

4 地域再生計画の目標

本村の人口は、昭和 30 年の 6,754 人をピークに減少していましたが、バブル期を含む平成 7 年までには、仙台駅における新幹線開業や仙台北部中核工業団地の形成により、増加傾向にありました。その後は、社会的な少子高齢化等の影響もあり、平成 7 年から平成 22 年には再度減少し始めました。しかし村内の住宅地開発等により平成 27 年（国勢調査結果）には 5,703 人と増加傾向に転じ、令和元年には 6,000 人を超えましたが、現在は再度減少傾向にあります。なお、住民基本台帳によれば、令和 2 年には 5,870 人です。国立社会保障・人口問題研究所によれば、令和 27 年には 4,148 人まで減少すると推計されています。

年齢 3 区分別の人口構造の推移は、老年人口が昭和 55 年の 10.9%から平成 27 年には 27.0%と増加しているのに対し、年少人口は昭和 55 年の 22.3%から平成 27 年には 14.6%と減少し、少子高齢化が進行していることが分かります。また、生産年齢人口は昭和 55 年の 66.8%から平成 27 年には 58.4%と減少しており、従属人口指数は、49.6%から 62.7%まで増加しています。

自然動態は、出生数、死亡者数ともに横ばいで推移しており、近年は死亡者数が出生者数を上回る自然減で推移しています（令和元年 28 人の自然減）。なお、合計特殊出生率は、平成 24 年以降は全国及び宮城県を上回っており、平成 27 年には 1.64 人となっています。社会動態は、一部の年を除いて転入者数が転出者数を上回る社会増で推移しています（令和元年 30 人の社会増）。

本村は豊かな自然に包まれている中で約 6,000 人の人口規模であり、各地区においては住民同士がふれ合いながら地区活動を展開しており、良好なコミュニティが育まれています。一方で、地区ごとに人口増減に差があり、大半の地区では将来において人口減少・少子高齢化が懸念されています。そうなった場合、今後は、労働力の低下、税収入の減少、地域活力の低下、地域コミュニティの担い手不足などの課題が考えられます。

これらの課題に対応するため、本計画において以下の基本目標を掲げて具体的な事業を実施することで、本村の人口規模や地区のコミュニティを基本としながら、本村を持続するために地区を越えて関わりを持ち、本村に関わるみんなで支え合い、村の強みを生かし、弱みを克服して、村全体でのコミュニティづくりを展開します。それにより、行政サービスが確実に受けられる中で、子どもや若者世代、高齢者、障害者等の全世代・多様な人々が村全体で交流することができ、これからも笑顔で暮らせるまちづくりを目指します。

- ・基本目標 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- ・基本目標 2 大衡村への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
- ・横断的な目標 1 多様な人材の活躍を推進する
- ・横断的な目標 2 新しい時代の流れを力にする

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規企業誘致による村民の 雇用創出数（累計）	5人	30人	基本目標 1
イ	純移動数（転入－転出） （累計）	170人	300人	基本目標 2
ウ	出生数（累計）	33人	200人以上	基本目標 3
エ	自主防災組織数（地区単位）	14組織	14組織	基本目標 4

			(維持)	
オ	住民自主企画の村全体を対象としたイベント数	0 回	1 回	横断的な目標 1
カ	民間活力を活用した事業実施数	0 事業	1 事業	横断的な目標 2

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

大衡村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする事業

イ 大衡村への新しいひとの流れをつくる事業

ウ 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

エひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

オ 多様な人材の活躍を推進する事業

カ 新しい時代の流れを力にする事業

② 事業の内容

ア 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする事業

1. 大衡村の未来を担う人材を育成するため、企業と学校の連携に対して多様な支援を行い、村内企業への就業を促進。

2. 農商工等の連携を促進し、技術の高度化や販路拡大等、産業の育成。

3. 多様な企業誘致を推進。

【具体的な事業】

・個性ある専門教育の充実

・農業の振興

- ・商業の拠点形成 等

イ 大衡村への新しいひとの流れをつくる事業

1. 多様な経済的支援等により、若者を中心としたU・I・Jターンを促進。
2. 移住・定住希望者の住まいの確保に向けて、景観・交通環境・防災等を考慮した魅力ある宅地開発を推進。
3. 移住・定住希望者の増加に向けて、大衡村の魅力やライフスタイル等の情報を広く発信。
4. 大衡村の豊かな自然や農産物、各種施設等の多様な資源を活用し、観光客の誘致。

【具体的な事業】

- ・奨学金返済の免除
- ・魅力ある住環境整備
- ・移住・定住相談窓口の充実
- ・観光まちづくりの推進 等

ウ 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる事業

1. 子どもを産み・育てることへの不安を軽減するため、経済的支援を推進。
2. 地域のサポート力の強化・親同士の交流促進・保育施設の機能の拡充等により、安心して子育てができる環境を整備。
3. 学校教育での学力向上に加え、家庭や地域における教育力の向上。

【具体的な事業】

- ・出産への医療・経済支援
- ・子どもを産み育てやすい環境づくり
- ・幼児教育の充実 等

エ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

1. 消防・防災・交通環境等の整備を推進し、安心・安全な地域機能を確立。
2. 公共施設や空き家等の実態を把握し、適正な既存ストックマネジメントを推進。

【具体的な事業】

- ・ 消防・防災体制の強化
- ・ 公共施設の適正管理 等

オ 多様な人材の活躍を推進する事業

1. 誰もが活躍する地域社会の推進に向けて、地域におけるコミュニティの形成。
2. 多様な人材の交流を生み出すため、地域間交流の振興。
3. 多様性に富む豊かな地域社会を形成するため、男女共同参画を推進。

【具体的な事業】

- ・ 生涯学習への参加促進
- ・ 交流推進体制づくり
- ・ 男女共同参画意識の啓発 等

カ 新しい時代の流れを力にする事業

1. SDGsの実現などの持続可能なまちづくりの一環として、環境問題に対応するため、クリーンなエネルギーの実用化等への取り組みを推進。
2. 高い住民ニーズを踏まえて、民間活力や近未来技術の活用等により、新交通システム等の生活利便性の向上に向けた検討。

【具体的な事業】

- ・ 各種産業協働による活動組織の確立
- ・ 民間活力の導入 等

※ なお、詳細は大衡村地方創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

40,000 千円（2021 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 11 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2030 年 3 月 31 日まで